

## 滋賀県がん診療連携協議会・第10回地域連携部会議事概要

日 時 平成23年12月16日(金)午後2時半～午後5時半  
場 所 大津赤十字病院 外来棟6階会議室  
出席者 各部会員

### 1. 経過報告と今後の予定について

#### 地域連携部会スケジュール

- ・前回2011/9/18地域連携部会開催後の各医療圏での取組み状況が記載されている。
- ・2011/11/6に第5回滋賀県5大がん地域連携パス研修会が甲賀医療圏において開催され、医療関係従事者、患者会、総計62名が参加され無事に終える事が出来た。
- ・滋賀県5大がん地域連携パスのパンフレットについては1月頃完成させ、関連施設へ配布したい。
- ・パンフレットの完成に続き、ポスターの作成に向けても取り掛かりたい。

### 2. 「滋賀県5大がん地域連携パス作成作業部会」報告

#### 滋賀県5大がん地域連携パス運用実績集計表

- ・2011/12/16現在、滋賀県5大がん地域連携パスの総運用件数が144件である。
- ・長浜赤十字病院は支援病院でありながら21件の運用実績があり、地域連携の環境が整備されていることがうかがえる。ネットワーク作りの完成度が高く、地域連携が成り立っている結果である。
- ・肺がん・肝がん・乳がん地域連携パスは運用件数がさほど伸びず伸び悩んでいる。
- ・運用実績一覧表の表記の仕方を「or×」に変更したため、算定の有無が明確となった。
- ・医療圏を超えた医療連携が可能となるために、現在、滋賀県医師会に協力を要請している。

#### 滋賀県肺がん地域連携パス(Ver.2)作成について

- ・がん診療連携拠点病院の各呼吸器外科部長へ肺がん地域連携パスについて意見の照会を行い、そこであがった意見を作業部会で討議し、完成させた。
- ・肺がん地域連携パス(補助化学療法なし)と(補助化学療法あり)の2種類になっている。
- ・各がん診療連携拠点病院の意向にそった滋賀県のコンセンサスを得たものとして今後使用していきたい。

地域連携部会員承認を得たため、HPへアップロードを行う。

#### 滋賀県肝がん(内科系)地域連携パス作成について

- ・肺がんと同様に、がん診療連携拠点病院の各消化器外科部長へ肝がん(内科系)地域連携パスについて意見の照会を行い、そこであがった意見を作業部会で討議し、完成させた。
- ・肝がんの治療方法では内科的ラジオ波が多く経過を追うものがほとんどであるため、内科での治療法を患者プロフィールに盛り込んだ。

- ・滋賀県の内科医が本内容を理解し使用すとなれば、かなりの運用件数が期待される。
  - ・肺がんと同様に、各がん診療連携拠点病院の意向にそった滋賀県のコンセンサスを得たものとして今後使用していきたい。
- 地域連携部会員承認を得たため、HPへアップロードを行う。

#### 滋賀県進行期胃がん・大腸がん地域連携パスについて

- ・作業部会では結果的に意見がまとまらず、最終原案を滋賀県がん診療連携拠点病院の各外科部長へ意見の照会を行った。進行期胃がん地域連携パスについてはTS 1の服用方法についてコンセンサスが得られておらず踏み切れない。そこで公立甲賀病院の瀬戸山先生によって新たに最終原案が考えられた。
- ・(改正案) 「4投2休を標準療法として開始し、患者忍容性により2投1休へ移行する。2投1休レジメンが継続不可能ならパスからドロップアウト」という初期案の姿勢を堅持する。「4投2休」と「2投1休」のいずれでも使用可能な「内服期間チャート」と「休薬期間チャート」に構成を変更する。意見を集約した結果、下記内容を最終原案とする。
- ・(最終原案) 滋賀県地域連携パスでは「2投1休」に統一し、これを標準療法とする。その他の投与法をカバー可能なパスシート(「4投2休」「その他の投与法」)をオプションとして用意した。
- ・進行期胃がん地域連携パスの構成・運用に関わる複雑性が解消され、実臨床では最も頻用されるレジメンであり、患者忍容性が高い。
- ・アウトカム達成率の高いパスとなり、オプションにより多くの患者に適用される可能性がある。
- ・しかし、ACTS GC試験において標準とされた「4投2休」を標準としないことやオプション選択の複雑な面が残る。
- ・患者会の意見としては、主治医から指示があればそのとおりに動く。ただ、体調がよい時にまで診察受診しなければならないとなれば負担である。
- ・進行期大腸がん地域連携パスは三本立てで作成した。補助化学療法用、ゼロダ服用用、UFT/ユーゼル服用用の「私のカルテ」である。
- ・作業部会で意見がまとまらず問題となった、連携先医療機関(診療所)の受診のタイミングについて確認したい。また、抗がん剤治療は病院で全て実施するのか連携先医療機関(診療所)でも実施していただけるのかも併せて確認したい。
- ・地域連携を組むからには連携先医療機関(診療所)の先生方にも化学療法を理解してもらわないといけない。
- ・患者会からの意見としては、抗がん剤治療にあたり、症状を日々記入できるのは非常に良いと思う。また、日めくりで受診カルテがあった方が体調管理しやすく記録として残せて良い。
- ・治癒を目的とした攻めの滋賀県下統一のクリニカルパスであり、あいまいなものは許されないがために大変複雑になっている。
- ・進行期胃がんクリニカルパスと進行期大腸がんクリニカルパスの仕様を統一させた方がいい

が患者さまは別の患者さまであるため、そのあたりはこだわらなくてもよいのか。

- ・抗がん剤内服薬を処方される連携先医療機関(診療所)は、各地域でどこにおられるのか、どのタイミングで患者様が受診すればよいのか。併せて医師会の先生方数名に意見を聞きたい。
- ・体調が悪化していないにもかかわらず地域連携パスに連携先医療機関(診療所)を受診することを義務化すると、体調が悪くない時にまで受診しないといけないスケジュールとなってしまうがそれでよいのか。
- ・手術担当病院と連携先医療機関(診療所)の双方へ患者さんに通ってもらうことで地域連携パスの本来の目的である2大主治医制のメリットが生きる。
- ・患者会の意見としては体調がよい時に、連携先医療機関(診療所)だけでなく手術担当病院を受診しないといけないとなれば、何のために受診しないといけないのかが分からないが、安心感はある。

5 大がん地域連携パス作成作業部会で、連携先医療機関(診療所)側と患者会からの数名の意見をいただき更に議論を煮詰めたい。

滋賀県5大がん地域連携パス『医療者用』について

- ・肺がん地域連携パス(Ver.2)部分の改訂 承認を得たため HP へアップロードを行う。

### 3. 滋賀県医師会へ要請事項

滋賀県下での5大がん地域医療連携届出について

- ・滋賀県医師会会長会において、滋賀県下一斉に5大がん地域医療連携が可能となるよう協力の要請をし、了解が得られた。
  - ・兵庫県がん診療連携協議会および大阪府がん診療連携協議会より近畿厚生局へ施設基準の届出の簡素化についての要望書(「近畿ブロック合同要望書」)が滋賀県立成人病センターに届いた。地域連携部会において本内容を検討し、12月28日までに回答しなければならないため、地域連携部会員は個々に検討いただき12月20日までに滋賀県立成人病センターまで回答願いたい。
- 協議会に一任する。

### 4. その他

滋賀県5大がん地域連携パス(地域連携診療計画書)『医療者用』追加項目について

(患者氏名・医療機関名・担当医師名・連絡先を追加)

- ・滋賀県5大がん地域連携パス(地域連携診療計画書)『医療者用』のパスシートに近畿厚生局の届出「様式13の4」に沿い項目を追加し、修正後 HP にアップロードする。
- 承認を得たため、修正後 HP にアップロードする。

#### 滋賀県 5 大がん地域連携パス Q&A について

- ・QANo.31(患者様からの質問) 地域連携パスの運用開始後、途中で連携先医療機関の変更は可能なのか。 地域連携パスの連携先医療機関側で起こった医療ミスの責任の所在はいずれにあるのか。 近畿厚生局へ について回答を得ました。 新たな連携先医療機関が近畿厚生局へ医療連携の届出をされていれば、変更は可能である。また、手術担当病院側で退院時に「がん治療連携計画策定料」を算定していれば、新たな連携先医療機関においても引き続き「がん治療連携計画指導料」の算定が可能である。

については、内容によるが基本的には治療を行った医療機関側に責任の所在がある。

#### 第 6 回 滋賀県 5 大がん地域連携クリニカルパス研修会について

- ・2011 年 3 月(日時未定)於:滋賀県立成人病センターにて開催予定である。内容については今後検討していく。

#### 滋賀県 5 大がんパンフレットについて

- ・著作権の問題が浮上したため、絵柄を変え内容を一部修正した。  
特に問題がない為、協議会事務局(滋賀県立成人病センター)を通じてパンフレットの作成を進めていく。

#### 滋賀県薬剤師会からの情報提供

- ・滋賀県薬剤師会の HP で公開している「薬局の訪問薬剤管理指導業務応需体制等に関する情報提供」について報告する。
- ・情報提供の内容については、 基本情報 届出等の状況 応需体制の状況等についてである。
- ・経口抗がん剤の取扱いが表示されている薬局では応じる義務があり拒めない。

以上、地域連携部会で決定した内容について、HP へアップロードを行い、最新情報を公開する。

次回、滋賀県 5 大がん地域連携パス作成作業部会を 2004 年 1 月 5 日(木)17 時 30 分～開催予定とする。

以上

平成23年度

**滋賀県がん診療連携協議会  
第10回 地域連携部会 出席者名簿**

2011/12/16

	施設・団体名	所属・職名	氏名	出欠
部会長	大津赤十字病院	第一内科部長	大野 辰治	出席
副部会長	滋賀医科大学医学部附属病院	腫瘍センター長	醍醐 弥太郎	欠席
(代理)	滋賀医科大学医学部附属病院	消化器内科	西村 武史	出席
副部会長	滋賀県立成人病センター	外科主任部長	財間 正純	出席
部会員	滋賀医科大学医学部附属病院	医療サービス課 係員	野本 滋	出席
"	大津赤十字病院	地域医療連携課課長	水野 敏子	出席
"	滋賀県立成人病センター	地域医療サービス室 副主幹	藤田 和信	出席
部会員	公立甲賀病院	外科部長	瀬戸山 博	出席
部会員	彦根市立病院	呼吸器科部長	林 栄一	出席
部会員	市立長浜病院	診療局理事(外科部長)	神田 雄史	出席
部会員	社団法人滋賀県医師会	理事	越智 眞一	欠席
"	滋賀県保健所長会	東近江保健所長	瀬戸 昌子	出席
"	社団法人滋賀県薬剤師会	介護福祉部委員	富田 国男	出席
部会員	社団法人滋賀県看護協会		中村 恭子	欠席
部会員	滋賀県健康福祉部健康推進課	副主幹	加賀爪 雅江	出席
部会員	滋賀県がん患者団体連絡協議会	副会長	藤内 隆行	出席
(代理)	滋賀県がん患者団体連絡協議会	会長	菊井 津多子	出席
"	滋賀県がん患者団体連絡協議会	運営委員	須藤 恵子	出席
"	滋賀県立成人病センター	経営企画室 主査	谷本 圭	出席